

建設産業委員会会議録

平成 26 年 6 月 19 日 (木)

午後 3 時 45 分 開会

○榊原伸行委員長

只今から建設産業委員会を開会します。

協議題 1 閉会中の調査テーマについて、ですが、6 月 23 日に建設産業委員会おでかけ委員会を J R 半田駅前地区と行いますので、それに向けた事前打ち合わせと確認を兼ねて、また今後の予定についても触れたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

6 月 16 日に中組会所で地元作業部会がありました。正副委員長が出席をしており、その中で話し合われたことを、私なりにメモしたものを資料としています。ただし、これは竹内さんには伝えてありませんので、あくまでも個人のメモとして読んでいただきたいと思います。

次の資料が前回の委員会で検討したものを正副委員長でまとめたものです。この対応例については次回 6 月 23 日にこれを基に議論を進める予定ですので、検討していただきたいと思います。

○新美保博委員

一言言っておきたいのですが、この間発行された市議会だよりに委員会の報告がありました。そこに載っていた内容は委員の意図するところになく、誰が責任を持ってそれを書いたのかということのを正してほしい。まず、それをやらないと進まない。

○榊原伸行委員長

わかりました。今、新美委員から指摘のありましたことについて、前委員長お願いします。

○小出義一委員

委員会報告の文字数がおよそ 3,000 字程度だったと思います。市議会だよりに載せるには半分くらい縮める作業をさせていただきました。誠意を持って、趣旨を曲げることなく、文体など精査しながら、縮められるところを縮めていながらそういう点を減らしながら縮めました。謝罪の部分についても、意図があって削った訳ではありませんが、紙面の都合や、委員会で話し合われた内容、今後街づくりをどうしていくかをできるだけ詳しく伝えることが議会だよりの使命だと思いました。住民の方々や、委員からでた貴重な意見を多く載せたいと思い、最終的な判断で、謝罪の分については割愛させていただきました。

○新美保博委員

なぜそれが行われているのかよくわからない。それと、この文言を作った時に、そこしか直していない。問題になっているのはあの 2 行しかなかった。なぜあの部分を削ったのか。

議場で委員長として語りたと言っていて追加した言葉がなぜここに載っていないのか。最初からあった言葉ではない。そこが一番のポイントだった。それを載せてもいいのか、と確認をして、それでもやりたいといったから載せたのに、なぜそれを消すのか。なんの権限があって消すのか。個人の一般質問とは違う。なぜ委員会で諮らずに消せるのか。普通の委員会なら正副委員長にお任せでいい。どこが問題かと言えば、あそこが問題だった。そんな人とは委員会をやってられない。委員を代わってくれ。一緒にやれない。

○小出義一委員

委員会として何を伝えるべきか、という中で今後期待を持っていただけるように地元の方も含め、いろんなご意見をたくさん伝えたいというところが選択の意図であって、決して最初から削るつもりであった訳では無く、多くを伝えたいという意図でありました。

○新美保博委員

誠意を持ってじゃなくて、それは言い訳。悪意としか考えられない。こんなことをするのであれば、委員としているが、同じ委員としてやっていけない。

○中川健一副委員長

僕も小出委員にお聞きしておきたいことは、委員長報告をつくる際には、この場で、みんな合意をして決めている訳ですが、当然議会だよりも委員会としての議会だよりなので、委員会としての承認があるか、あるいは一任を事前にとっておくことは手続きとして必要だと思いますが、そういう誠意というか、独善的な勝手な誠意ではなく、法的な手続きはどう考えていますか。

○小出義一委員

通例今までの委員会報告は壇上でしたものを委員長が誠意を持って精査してきたという慣例の中で、私自身の誠意の中で、文面を変えないように努めたつもりです。

○中川健一副委員長

当然手続きを経てやらなければならないことをなんで勝手にやったのか。

○小出義一委員

前例通りだったと理解しています。通例、委員長が本会議場で報告したものを誌面に収まるようにしてきたことを私もさせていただきました。

○中川健一副委員長

本来は削ってはいけない。委員長報告をつくるときも委員長一任をするか、しないかという話をして、一任するけど見せてね、ということ合意してやっていると思うが、なんで今回はそうではないのか。

○小出義一委員

それがこれまでの慣例とういうか、そのようにやってきました。

○中川健一副委員長

慣例は誰がどう作ってどこに書いているのか。

○新美保博委員

慣例だというけれども、あなたは慣例から外されている。普通の慣例なら委員長はやれるし、連続で委員長であるべきなの。議場で報告することも、あなたがしゃべる、しゃべらないということは問題にならない話なの。これだけ問題になってみんなが譲歩してここまできているのは、普通の形ではない。それに気づかないのか。今の委員長が前に言った通り、あなたには委員長の資質がない。資質が無い人がやってはだめだから、なぜみんなに諮らなかったか。まともにできる人は慣例でいいが、まともでないということをこの期に及んで感じていないから、あえて問題提起をしています。申し訳ないけどこんなことを言っているのなら、この委員会はやらない。まず、ここでいうのは、勝手なことをして申し訳ないから始ま

るのではないか。みんなの意見を載せなければならないと能書きを言う前に、なぜ申し訳ないと言わないのか。悲しいけどあなたから一度聞いたことない。言われてからしか言わない。何年議会を経験しているのか。お互いの意見を聞きながら、1つのものをつくろうとしているときに、なぜこんなことするのか。

○中川健一副委員長

慣例というのはよくわからない。誰が慣例と言ったのですか。議会事務局長が言ったのですか。あるいは別の方が言ったのですか。

○小出義一委員

従来通り広報広聴委員会から依頼が委員長に依頼があって、それに対応したということです。慣例というのは従前そのような対応が毎年なされていたので、そのようにしました。内容については委員会の内容を曲げることなく精査したということです。

○中川健一副委員長

内容が曲がっているから僕は言っている訳です。今の広報広聴委員会から依頼をうけるのはよくわかりませんが、こちら側の意見を何も聴取せずに勝手に変えていいという慣例があるなんて聞いたことない。何を言っているのか。1人の思い込みでしゃべっているのか。

○小出義一委員

今までの委員会もそのようになされており、今回もそういう流れでしたので、そのように対応させていただきました。

○中川健一副委員長

そんな慣例の存在は我々知らないし、慣例は先例集に載っているのか。載って無い訳だから独りよがりもいい加減にしてほしい。

○鈴木好美委員

わたしも広報広聴委員で、わからなかった部分もあります。委員会報告は各委員長にお任せして誌面に収まるようにしています。本来ならば建設産業委員会はこのような状況下だったので、文章をこのように減らしますと委員会で言い、偶然にも委員長云々の文章は本人からみんなに伝えていけば、そこを削らず、他を削るなどなんとかなったと思います。先ほどから小出委員が言っているのは、今までのことを深く考えずに、削ったと自分は思いたいです。本来なら先ほど新美委員が言われたように、みなさんに申し訳ないと言えれば、意図せずにやったと理解してもらえたと思います。これを修正できるかどうかは僕にはわかりませんが、何かいいアイデアがあれば出してもらいたいと思います。広報広聴委員会では句読点の確認しかしないので、今まで通りの感覚だったと思います。

○新美保博委員

この件については問題が2つあって、間違いなくこれは建設産業委員会の正しい報告ではない。ということが1つ目。それをなぜ勝手に誰がやったのか。ということが2つ目。連動しているかもしれないが、普通であれば、みんなに相談があった上で、委員長に任せたり、確認するなどしたりしていたことが慣例。そのことが無く、この記事のざまとなっている。この責任はどうなっているのか。これをどうするのか。

○榊原伸行委員長

暫く休憩します。

休憩 午後4時08分

再開 午後4時25分

○榊原伸行委員長

休憩を解き、会議を再開します。

○小出義一委員長

委員会報告で最終的に修正した箇所は当初から削ることを予定していた訳ではありませんが、提出の段階で迷った部分もありましたが、みなさんに諮らず提出したこと、湾曲する意図はありませんでしたが、それを議会だよりとして提出してしまったことに対しては大変申し訳なく思っています。

○新美保博委員

何を言ったのかよくわからないというのが感想です。お願いだから委員としてしゃべらないで。そう思うのだったらお聞きしたい。委員に迷惑をかけて小出委員は何をやるんですか。

○小出義一委員

その点については深くお詫びしたいと思います。委員のみなさんにはご理解いただいてまた、委員として一生懸命やっていきたいとおもいますのでよろしくお願いします。

○榊原伸行委員長

この件はこれで終結して、閉会中の調査事項に戻ります。

○新美保博委員

これは整理したのはいつですか。というのは、いつまでも1月27日に挙げられた問題点の対応例としないで、何度も精査をしている訳だから、ただ課題についてとすればいいのでは。

○事務局

整理は6月6日です。

○新美保博委員

次回は6月6日に議論した内容に基づいて行うということですか。

○榊原伸行委員長

はい。もう1点は委員長メモとなっていますが、地元作業部会の内容を発表させていただきます。

○笠原建設部長

委員長メモに記載されている今後の予定が実際と異なる部分がありますので、そこは訂正します。JR武豊線の電化は平成27年春と記者発表しています。都市計画の決定は都市計画手続き中となります。半田運河周辺整備計画はまだ続きますので、施行中となります。中壆半六邸は平成27年4月です。赤れんがも平成27年4月です。

○榊原伸行委員長

今の予定の部分で建設部長が言われたとおりに訂正をお願いします。

○新美保博委員

このメモは持って行った方がいいのですか。

○中川健一副委員長

副委員長としましては当日の議論をきちんとする為には、我々は前回の地元作業部会を委員長からこのように聞いている、ということを書き文書でもって、向こうの話を聞いた方がいいと思います。あくまでも委員長のメモを共有しただけですので。

○事務局

おでかけ委員会の配布資料として準備しますか。

○榊原伸行委員長

建設産業委員会の委員だけで持っているものです。正式なものは、あちらでまとめてくださり、資料として提出されます。

それでは次にいきます。みなさんにメールでお送りしました規約と名簿についてですが、カクサンさんからみなさんに諮ってから送りました。大きく変わったところが、世話人を委員と表記しています。もう1点、委員長をカクサン竹内さんとして、副委員長に鈴木さんと私、市民経済部長とすることです。この部分は未確認ですので確認してきます。これを6月23日に諮り了解を得て発効となります。

○新美保博委員

建設産業委員長、建設産業副委員長という肩書は載せてください。

○榊原伸行委員長

只今、新美委員から指摘のありました委員の肩書として、委員長、副委員長を掲載させていただきます。

これについて他にありませんか。

【「なし」との声あり】

○榊原伸行委員長

では次に移ります。明日、各派代表者会議があります。7月9日午後3時30分長浜まちづくり株式会社の吉井茂人先生を代表者会議で提案させていただき予定ですのでご承知おきください。

【発言するものあり】

○榊原伸行委員長

暫く休憩します。

休憩 午後4時42分

再開 午後4時55分

○榊原伸行委員長

委員会を再開します。長浜へ県外視察をすることになった場合には7月25日、28日を候補日としていただき、7月16日を実行委員会の予定としていただきたいと思います。

また、次回6月24日に委員会審査を終えた後、事業評価についても触れたいと思いますのでよろしく願いいたします。

本日の議事はすべて終了しました。以上で委員会を閉会します。

閉会 午後5時00分